

3. 中期計画

3.1 第3期中期計画（2023年度～2028年度）における2023年度計画と実績

3.1.1 2023年度計画の概略（石川県公立大学法人 2023年度計画 概要版より）

計画策定の基本的考え方

第3期中期計画(6年間)の初年度にあたる令和5年度は、中期計画の達成に向けて、3つの柱「教育の質の向上・学生支援及び学生の確保」「研究の質の向上・良好な教育研究環境の整備」「産学官連携・地域貢献の一層の推進」につながる事業に特に重点的に取り組む。

中期計画の3つの柱に関する取組み

項目	看護大	
	内容	
I. 教育の質の向上・学生支援及び学生の確保	①教育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の入試成績や自己効力感等の調査を通じたアドミッション・ポリシーの検証 ・電子教科書等の導入及び導入効果の検証
	②人口減少・少子高齢化の時代における優秀な学生の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の研究室訪問の実施 ・入学者選抜における推薦枠の拡大及び面接方法等の見直しの検討
	③就職・キャリア形成支援、学生満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーチング・アシスタントによる学修支援内容の検証 ・学修等の悩みを気軽に相談できる体制の強化 ・入学時からキャリア実現を相談できる支援体制の強化
II. 研究の質の向上・良好な教育研究環境の整備	④研究の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決につながる研究の推進 ・共同研究講座を開設し、新たな看護ケア方法に関する産学共同研究を推進
	⑤教育研究環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・教育力・研究力の強化に向けた高度で先進的な教育研究装置の整備 ・大学のデジタル化に向けた環境の整備 ・看護実習におけるサテライト演習室の確保
III. 産学官連携・地域貢献の一層の推進	⑥地域貢献の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職者対象の人材育成事業や、自治体と連携した健康増進活動の実施 ・研究内容を発信するためのシーズ集の作成 ・特定行為を含む認定看護師教育課程の開講準備

その他の主要な取組み

項目	看護大	
	内容	
IV. グローバル化の進展	①国際交流、国際協力の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・海外から看護系教員を招聘し、国際交流研修を実施
V. 経営基盤の維持強化	②ガバナンス機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長および学長のリーダーシップのもと、大学における様々な課題への対応等、戦略的かつ円滑な大学運営を推進
VI. 大学運営の改善、大学の認知度向上	③積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な情報発信のためのホームページの改修、大学紹介動画・ポスターの作成

3.1.2 2023年度実績の概略

(石川県公立大学法人 2023年度業務実績報告書の概要より抜粋)

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育課程及び実施体制の充実

(1) 新科目の導入

- ・「臨床推論・臨床判断演習」を新たに導入し、患者の状況を的確に把握、看護ケアを提供するアセスメント力を向上

(2) 教育のDX推進

- ・新1年生からの電子教科書を導入しペーパーレス授業を開始、操作に不慣れな学生のため情報ガイダンスを実施
- ・患者の状況をリアルに再現したシミュレーションルームでの実習など先進的なシミュレーション教育に取り組む他大学を視察

(3) 多様な研究方法を学修できる環境の整備

- ・共同研究講座「看護理工学」の教員2名を、大学院の指導教員に認定

(4) グローバル化の推進

- ・アメリカから看護教員2名を招聘し講演会を5回開催、延245人の学生・教員が聴講
- ・タイ人留学生、韓国出身の石川県国際交流員を招きインターナショナル・カフェを開催

2 学生の確保

〈学士課程〉

- ・大学ホームページの内容を充実し、スマートフォンやタブレットでも見やすいものに改修
- ・夏と秋のオープンキャンパスで教員の研究を紹介するミニイベントの実施
- ・学校推薦型選抜入学試験における1校あたり推薦枠を3人から5人に拡大

〈大学院課程〉

- ・研究者情報・研究シーズ集を作成、学部生に研究に関する情報を提供

3 学生への支援

(1) 学修を支援

- ・「電子教科書の操作方法などに関する相談窓口の周知」や「学習管理システム内にサークル紹介のページを作成」など学生の要望に対応

(2) キャリアプランの実現を支援

- ・1年生を対象としたキャリア支援セミナーを2月に開催
- ・国家試験対策として、3年生模試や、4年生に模試の結果に応じて補習を実施

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

4 研究及び産学官連携・地域貢献の推進

(1) 地域の課題解決につながる研究の推進

- ・かほく市の働き盛り世代の健康増進のための取り組み

(2) 産学共同研究の推進

- ・サラヤ(株)との共同研究講座
「看護理工学」の開設
- ・(株)モルテンとの共同研究講座
「ウェルビーイング看護学」の開設に向けた協定を締結

(3) 教員の科学研究費補助金申請支援

- ・研究サポート集会の開催や、申請書類作成を指導し、令和5年度の新規申請件数が44件と法人化以降最多

(4) 地域における看護の質向上への支援

- ・県内の看護職を対象とした事例検討会を開催
- ・医療機関からの要請に応え、看護研究の講師として6病院に延べ21人を派遣
- ・県の委託事業「看護教員現任研修」及び「皮膚・排泄ケア研修」を実施

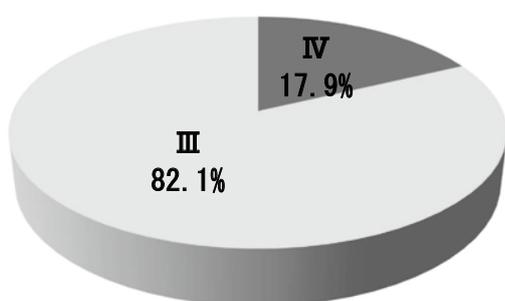
(5) 認定看護師教育課程の令和6年度開講に向けた準備

- ・皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程の教育機関として日本看護協会から認定特定行為研修の研修機関として厚生労働省から指定
- ・皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程の入学試験を実施、全国から71名の応募があり、30名が合格（うち県内11名）

(6) 令和6年能登半島地震における被災者支援

- ・金沢市内の避難所での健康観察、感染予防等運営支援
- ・輪島市内の高齢者施設での褥瘡ケア及び相談、助言
- ・県立田鶴浜高校の生徒に大学の実習設備等の教育環境を提供

項目別評価の状況



項目	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
教育	1	18	0	0	19
研究	2	2	0	0	4
地域貢献	2	2	0	0	4
グローバル化	0	1	0	0	1
計	5	23	0	0	28

業務運営の改善・効率化に関する目標

1 ガバナンス機能の強化

- ・学長のリーダーシップを発揮できる学内運営体制を構築するため、将来構想委員会及び運営連絡会議を開催
- ・看護学部長を新設

2 事務組織等の整備と効率化

- ・倫理委員会への申請や情報システム利用のための学内手続きをオンライン化
- ・教育研究審議会等の各種会議をペーパーレスで開催

3 両大学間連携の推進

- ・両大学の合同研究発表会・FD研修会を3年ぶりに対面で開催

4 教員にインセンティブを与える仕組み

- ・単年度教員評価の本格運用に向けて、インセンティブを与える基準について検討

財務内容の改善に関する目標

1 令和6年能登半島地震の被災学生への授業料等の減免

- ・法人独自の授業料及び入学金、受験料の減免制度を創設し、学生の学びの継続を支援

2 外部研究資金の獲得

前年度比 ▲34,412千円/+16件

(R5 : 247,730千円/109件、R4 : 282,142千円/93件)

自己点検評価及び情報提供に関する目標

1 大学への評価を活用した取り組み

- ・ 認証評価機関の提言を踏まえ、修了生が大学院で身につけた学修成果を勤務する医療機関で役立てているか確認できるものにアンケート内容を修正

2 大学の活動に関する情報発信

- ・ 大学案内をリニューアルしたほか、大学院案内及び大学PRポスター、大学院PRポスターを新たに作成し、県内高校や医療機関等に配布

その他業務運営に関する目標

1 良好な教育研究環境の整備

- ・ 計画に基づく吸収式冷温水機の改修等
- ・ 動物実験棟の整備
- ・ 看護スキルスラボの整備等、看護教育のDX推進

2 全学的な安全衛生管理体制の整備

- ・ 衛生委員会が職場巡視を実施、グラウンドやテニスコートに常設していた大型用具を危険のない場所へ移動